

学部通信第5号

文責：平山 正敏

本日から、2学期の授業が始まりました。

高等部は、進学や就職を目指す本科3年生、専攻科2年生にとっては気が抜けない時期で約2～3週間の補習、その他の生徒も部活動に参加後、自習を行ったりして忙しい夏休み期間を過ごしました。そのおかげか、2学期の学習にもスムーズに移行できたようです。2学期は、体育祭や九州地区のろう学校、聴覚特別支援学校が集まったの交流会・陸上競技大会、高等学校総合文化祭、持久走大会などの行事が山盛りですが、行事とともに学業にも一生懸命取り組んでほしいと思います。

今回の号では、夏休みのニュースを二つ紹介したいと思います。

まず一つ目は、長崎県民大学主催講座「楽しいやきもの講座」を本校で開催しました。本講座は20回以上の実績があり、5回の作業ですが、完成まで約1か月を要する講座です。やきものに興味のある地域の方々を広く募り、総合デザイン科セラミックコースの教職員、生徒が、やきものづくりの指導、お手伝いをする事業で、約15名の方々が参加されました。出来上がった作品はどれも素晴らしく、本校のやきものづくりのノウハウが生かされた講座となりました。

ろくろを回して成形！



素焼き！



ゆう薬かけ！



素晴らしい作品を前に皆で喜んでいきます。



ケーブルテレビの取材を受けています。



二つ目は、喜ばしいニュースです。7月8日(土)にアビリンピック(障害者技能競技大会)が行われましたが、審査の結果、家具部門において、本校専攻科1年生が金賞、2年生が銅賞を獲得することができました。8月30日(水)に、高齢・障害・求職者雇用支援機構長崎支部の方がわざわざ本校に見えられ、表彰をしてくださいました。金賞の生徒は全国大会(愛知大会)に出場することになりました。これから、全国大会に向けて自分の技術を磨いていってほしいと思います。

金賞おめでとうございます。

みなさんで記念撮影！！

二人とも真剣です！

